



2022年2月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年10月14日

上場会社名 株式会社 魚喜

上場取引所 東

コード番号 2683 URL <https://www.uoki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大庭 美和

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 尾崎 勝弘

TEL 0466-45-9282

四半期報告書提出予定日 2021年10月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期第2四半期の連結業績(2021年3月1日～2021年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第2四半期	5,436	5.3	153	153.4	190	187.9	128	480.5
2021年2月期第2四半期	5,163	11.1	60	315.1	66	362.1	22	

(注) 包括利益 2022年2月期第2四半期 126百万円 (439.6%) 2021年2月期第2四半期 23百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第2四半期	50.26	
2021年2月期第2四半期	8.66	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年2月期第2四半期	2,120	742	35.0	290.67
2021年2月期	2,541	641	25.3	251.33

(参考) 自己資本 2022年2月期第2四半期 742百万円 2021年2月期 641百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期		0.00		10.00	10.00
2022年2月期		0.00			
2022年2月期(予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年2月期の連結業績予想(2021年3月1日～2022年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,200	3.4	250	21.4	280	26.1	190	4.5	74.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2022年2月期の通期の連結業績予想につきましては、2021年10月13日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年2月期2Q	2,555,856 株	2021年2月期	2,555,856 株
期末自己株式数	2022年2月期2Q	2,172 株	2021年2月期	2,172 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年2月期2Q	2,553,684 株	2021年2月期2Q	2,553,684 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2021年3月1日から2021年8月31日まで）におけるわが国情勢は、新型コロナウイルス感染症の感染者数が一旦は減少傾向となり、緊急事態宣言は沖縄県を除き解除されましたが、第5波により感染者が急増し、大都市圏を中心に緊急事態宣言が再発出されるなか、8月下旬に感染者数のピークを迎えました。このような情勢下で東京2020オリンピック・パラリンピックが開催されましたが、依然先行きは感染の動向を注視しつつの経済活動が続くと予想され不透明な状況にあります。

当社グループが事業の主体をおく水産小売業界は、水産資源の枯渇や国外での魚介類消費の増加により漁獲量の減少、魚介類の仕入価格上昇傾向が続く情勢となっております。国内消費については現在のコロナ禍での商業施設の休業、営業時間短縮や天候不順などの影響があったものの、オリンピック・パラリンピックの開催や外出自粛要請による巣ごもり消費が引き続き見られました。

このような環境下、当社グループでは、従業員のワクチン接種などコロナ禍における感染症対策を徹底し、お客様に安心してお買い物ができる態勢を整え、ローコストオペレーションの実施、店舗運営コストの見直しを継続し、収益構造の改善に取り組んでまいりました。

当期においてはお盆期間の帰省自粛が売上に影響するとの懸念があったものの鮮魚部門においては前年を上回る結果となりました。父の日、丑の日などのイベントでは売場の演出強化、他社との差別化を図る商品の強化に取り組み、特に丑の日においては社内コンテストを実施し売上の強化を図り、オリンピック開催期間には観戦需要を見込んだ「おうちde観戦フェア」を実施するなどの取り組みをおこないました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当社の売上高は54億36百万円（前年同四半期比5.3%増）、売上総利益は23億95百万円（前年同四半期比5.9%増）、営業利益は1億53百万円（前年同四半期比153.4%増）、経常利益は1億90百万円（前年同四半期比187.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億28百万円（前年同四半期比480.5%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

（鮮魚事業）

鮮魚事業の売上高は、48億74百万円（前年同四半期比4.8%増）となり、セグメント利益は、3億47百万円（前年同四半期比17.3%増）となりました。

（飲食事業）

飲食事業の売上高は、3億62百万円（前年同四半期比17.8%増）となり、セグメント利益は、5百万円（前年同四半期は22百万円のセグメント損失）となりました。

（不動産事業）

不動産事業の売上高は、2億20百万円（前年同四半期比2.1%減）となり、セグメント利益は、22百万円（前年同四半期比0.4%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ4億20百万円減少し、21億20百万円となりました。このうち、流動資産は前連結会計年度末に比べ3億78百万円減少して14億37百万円となり、また、固定資産は前連結会計年度末に比べ42百万円減少して6億83百万円となりました。

（負債）

負債の総額は、前連結会計年度末に比べ5億21百万円減少し、13億78百万円となりました。このうち、流動負債は前連結会計年度末に比べ4億57百万円減少して10億48百万円となり、また、固定負債は前連結会計年度末に比べ63百万円減少して3億29百万円となりました。

（純資産）

純資産は、前連結会計年度末に比べ1億円増加し、7億42百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の実績及び今後の経済動向を勘案し、2021年4月14日の決算短信で公表した2022年2月期の連結業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、2021年10月13日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	940,930	666,445
売掛金	567,101	495,953
商品	122,109	143,391
貯蔵品	13,048	11,803
その他	172,479	119,648
流動資産合計	1,815,669	1,437,241
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	481,568	491,690
減価償却累計額	△390,780	△398,939
建物及び構築物 (純額)	90,787	92,750
工具、器具及び備品	735,893	743,329
減価償却累計額	△624,452	△634,499
工具、器具及び備品 (純額)	111,440	108,829
土地	389	389
有形固定資産合計	202,617	201,969
無形固定資産	51,955	41,556
投資その他の資産		
投資有価証券	75,317	71,792
敷金及び保証金	317,623	319,963
繰延税金資産	43,101	15,384
その他	35,079	32,508
投資その他の資産合計	471,122	439,649
固定資産合計	725,695	683,175
資産合計	2,541,365	2,120,417

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	677,250	434,378
短期借入金	150,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	177,136	140,476
未払金	267,093	226,034
未払法人税等	790	27,479
賞与引当金	18,987	17,832
資産除去債務	—	265
その他	214,768	151,866
流動負債合計	1,506,026	1,048,333
固定負債		
長期借入金	249,773	188,698
長期預り保証金	88,761	84,825
関係会社支援損失引当金	17,300	17,300
資産除去債務	37,678	38,969
固定負債合計	393,512	329,793
負債合計	1,899,538	1,378,127
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	246,063	246,063
利益剰余金	287,206	390,011
自己株式	△5,634	△5,634
株主資本合計	627,636	730,440
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,189	11,848
その他の包括利益累計額合計	14,189	11,848
純資産合計	641,826	742,289
負債純資産合計	2,541,365	2,120,417

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
売上高	5,163,810	5,436,580
売上原価	2,902,427	3,041,120
売上総利益	2,261,382	2,395,460
販売費及び一般管理費	2,200,852	2,242,087
営業利益	60,529	153,372
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	1,398	1,498
受取手数料	20	627
受取補償金	5,942	—
受取協力金	—	30,300
その他	1,042	6,660
営業外収益合計	8,407	39,089
営業外費用		
支払利息	2,673	1,674
その他	21	90
営業外費用合計	2,694	1,764
経常利益	66,242	190,697
特別利益		
固定資産売却益	470	—
特別利益合計	470	—
特別損失		
固定資産除却損	49	33
減損損失	13,750	—
特別損失合計	13,799	33
税金等調整前四半期純利益	52,913	190,663
法人税、住民税及び事業税	20,366	33,421
法人税等調整額	10,438	28,900
法人税等合計	30,805	62,322
四半期純利益	22,108	128,341
親会社株主に帰属する四半期純利益	22,108	128,341

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
四半期純利益	22,108	128,341
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,241	△2,341
その他の包括利益合計	1,241	△2,341
四半期包括利益	23,350	126,000
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	23,350	126,000
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱いの適用)

当社及び連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(令和2年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症による影響の仮定について重要な変更を行っておりません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2020年3月1日至2020年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	鮮魚事業	飲食事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,652,267	307,906	203,636	5,163,810	—	5,163,810
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	21,557	21,557	△21,557	—
計	4,652,267	307,906	225,193	5,185,367	△21,557	5,163,810
セグメント利益又は損失(△)	295,992	△22,455	22,335	295,872	△235,343	60,529

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△235,343千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△236,569千円等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

飲食事業セグメントにおいて、営業活動から生ずる損益が継続してマイナスである店舗の固定資産について減損損失を計上しております。当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において13,750千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

重要な変動はありません。

(重要な負ののれん発生益)

重要な負ののれん発生益はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2021年3月1日至2021年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	鮮魚事業	飲食事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,874,051	362,650	199,878	5,436,580	—	5,436,580
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	20,566	20,566	△20,566	—
計	4,874,051	362,650	220,445	5,457,146	△20,566	5,436,580
セグメント利益	347,118	5,881	22,426	375,425	△222,053	153,372

(注) 1. セグメント利益の調整額△222,053千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△221,812千円等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要な減損損失はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要な変動はありません。

(重要な負ののれん発生益)

重要な負ののれん発生益はありません。